

# 活動の幅を広げる個人セラピストたち ～その実際と取り組み

# 活動の幅を広げる個人セラピストたち～その実際と取り組み

対外的な活動の幅を広げているセラピストたち。本講座の目的

- ・自らのステージを意識するセラピストたち
  - ・資格取得だけでは進まない現実
  - ・他業種他団体がセラピーを求めている
1. 対外活動の可能性を見出す
  2. 事例を通して現状を把握する
  3. 実際に取り組む先のポイントを知る



今まで  
考えたことが  
なかった

でもどうやって  
取り組めば？



業界全体の流れ  
＋  
既動セラピスト  
たちの動き方

自らの  
セラピーライフ

新しい  
可能性★



# 個人セラピストたちの活動～一例

## 在宅訪問を中心とした緩和ケアプログラム

対象  
在宅ケアを受けている方やその家族

内容  
緩和を目的とした  
セラピー



## 古民家カフェでのセラピーサービス

場所  
古民家カフェ

内容  
セラピー体験イベント  
ワークショップなど  
複合的にサービス提供



## 町営の観光農園でのセラピーサービス

場所  
町営の観光農園

内容  
香り抽出体験のイベント  
香油の商品化、販売  
アロマイベントの定期開催事業

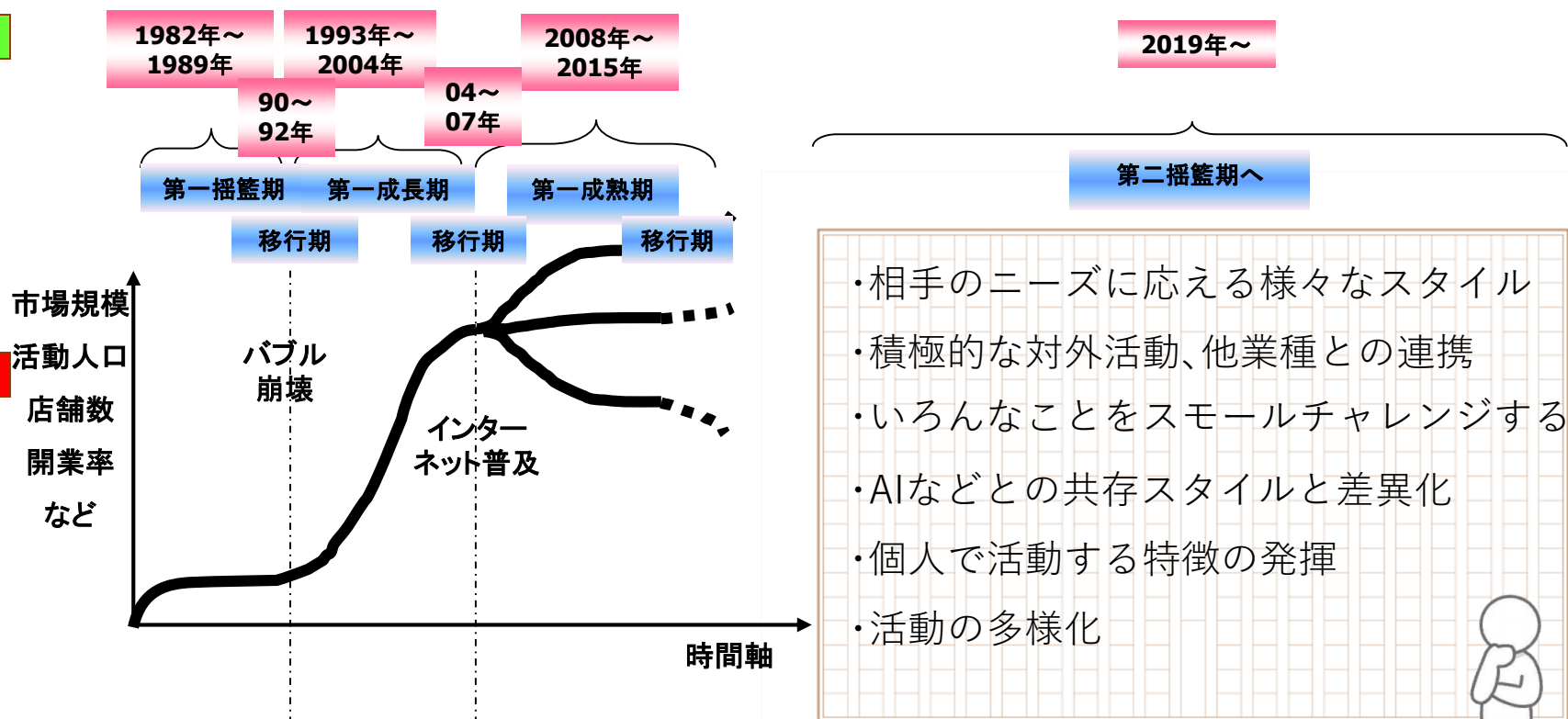


# 新たなセラピスト業界の流れから見えるもの

業界の歴史をたどるとこれからの歩みがわかる。

何が求められ、個々のセラピストたちが何をしてきたのか。

そして自らのライフサイクルと当てはめていくことを通して可能性を幅を広げる。



# 現代の個人セラピストたちが活動の幅～事例

## 医療、福祉分野

- ・クリニック(産婦人科、美容、etc)
- ・介護(特養、有料、グループ、デイ、etc)
- ・緩和、ホスピス
- ・その他(通所、NPO法人)

## 企業分野

- ・オフィス(BtoB)
- ・サービス(BtoC)
- ・その他

## 地域、地方分野

- ・自治体連携
- ・地域活動
- ・教育活動

## 今後注目。広まる分野

- ・海外分野
- ・健康分野
- ・観光分野

# [質問] 活動するきっかけは？

## [たまたま] アンケート文

企業の担当者がWEBから問い合わせしてきた(福利厚生メニューを検討中に)

学び始めたセラピースクールに医院長夫人が受講されていて資格取得後お話をいただきました。

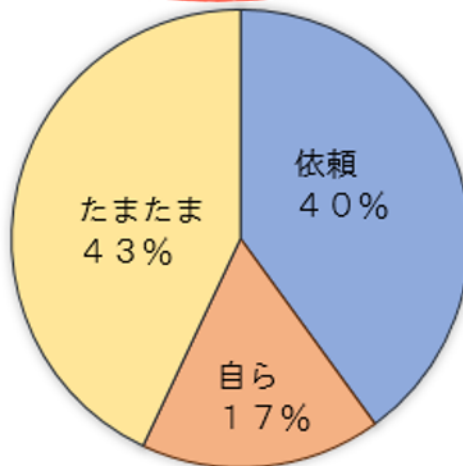
海外で活動していた友人の紹介でスパサロンのメニュー開発をやらなにかと提案された。

始まりは、地域サロンに遊びに行ったこと

アロマの日に広島でもイベントと思い、自分が始めればいいんだと思ったことから

居住自治体の生涯学習課が運営する「講師紹介ウェブサイト」 無料登録時に、市の開催していた「講師にチャレンジ」企画に応募。プレゼン、審査を経て採用され実際に講座を開催、市の生涯学習誌にも掲載される

## 活動のきっかけ



## [自ら] アンケート文

自らの家族との体験をもとに設立

地元浦和でこの活動を広めたいと思い、2011年にアロマセラピーのボランティア団体を設立

お知り合いがカフェオープンすると伺い自らアプローチ

産婦人科で妊産婦さんのケアをしたいという想いがあり、開院間もないその産婦人科に直接営業して、契約に至った

## [依頼] アンケート文

昔、通っていたアロマスクールの先生の紹介

仲間のセラピストの交代要員としてお話をいただきました

社員で入っていたセラピースクールの出向という形から

友人が勤務していた介護系施設の内覧会で理事長と初めてお会いした際、自己紹介したところ「一度来てもらえませんか」とお声がけいただき、体験トリートメントに伺い、諸条件を詰めて契約に至りました

前職の業界関係者からイベント出店のリクエストがあったことから



# [質問] 具体的に何をしていますか？

## [イベント等] アンケート文

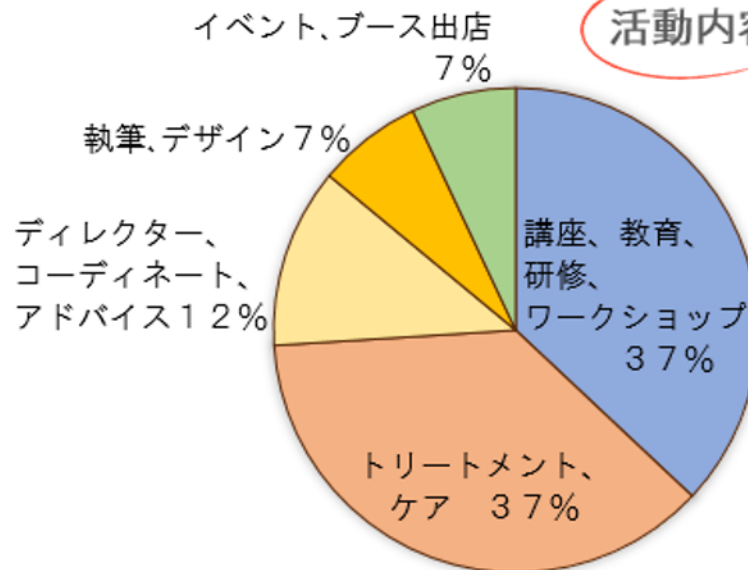
新幹線グリーン車内でのセラピー提供

百合やローズの咲く春と秋に数回ずつ香り抽体験を開催

年に一度、11月3日にアロマ世羅ピーフェスタを道の駅で開催（世羅町）

数千～10数万人規模の音楽イベントでセラピーブースを出店

## 活動内容



月2回、カフェスペースをお借りしての短い時間15分～の施術や気軽なアロマワークショップ

## [講座・教育等] アンケート文

認知症の進行予防と施設内での豊かなコミュニケーションを育む目的で開催。毎月宿題を出すことで、教室のある時だけでなく、日常の中でも予防や利用者さん同士のコミュニケーションの一環として。

家庭の緩和ケアの啓蒙活動・セラピストのための緩和ケア勉強会（毎月1回開催・年12回/コース）

複数の学校にて年1回、単発の初心者向けアロマ講座。

単発又は複数回 自治体の初心者向け講座。

## [ディレクター等] アンケート文

月1回会議に参加、セラピストの技術指導、全体の企画や運営のアイデア出し、アロマブレンドのディレクション、イベント出店ディレクションなど

在宅クリニックのニュースレターに「暮らしの歳時記」の記事寄稿、情報によるご家族の方の心のケアのサポート

サロンデザイン（内容・備品）の依頼にこたえる形で

精油、オーガニック製品の開発、OEM商品化

雑誌媒体などからリクエストがあった場合にセラピーに関する執筆

## [トリートメントケア] アンケート文

在宅ケアを受けていらっしゃる方とそのご家族を対象としたアロマセラピーを用いた緩和ケア（QOLアップのためのケア）

訪問アロマトリートメントを週2～月1回の定期訪問

20年ほど前から今年1月まで 週に2日 出産後の入院患者様へのサービスの一環としてのケア。

# [質問] 対外活動の目的は？

## [サロン、講師などの告知等] アンケート文

産後のお母さん、通院中の妊婦さんが当サロンへの利用につながるのの宣伝として

当サロンへの 直接 利用につながる ため の宣伝として

## [自身の実績、経験等] アンケート文

実際に様々な病態や状況の方に接することができるのは、非医療者である私にとっては貴重な機会です

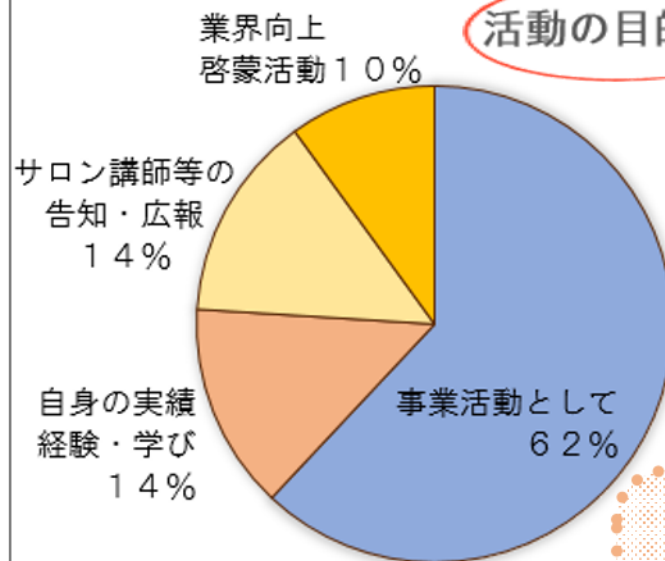
自身が高齢者の方が大好きで、不調の緩和や癒しの時間を提供したくて

現代最先端の美容医療を知る目的

自分自身がより良い終末期を過ごすため

臨床経験等の学びのため

## 活動の目的は？



## [事業活動] アンケート文

事業・収益の柱の1つとして

活動収益の一部として

固定収入を得る場として

## [業界向上、啓蒙活動] アンケート文

日本の心の健康の一助に

身体意識を高める啓蒙活動として

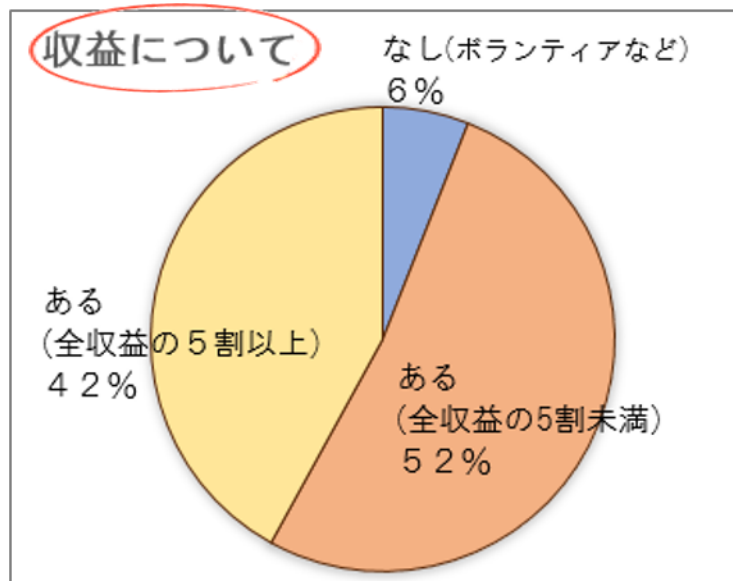
この土地ならではの素材の香りをもっと知ってもらいたいと思いから

自身の身体や心のセルフケアを子供のころから身につけてほしいとの想いから

セラピストの地位向上のため  
心の健康に係る仕組みを変えるため



# [質問] 収益性について



## [なし] アンケート文

自分が主催し、広告宣伝費やスタッフへの賃金・交通費なども要するため、イベントとしての売り上げはマイナスか、トントンくらいです

## [ある～5割以上] アンケート文

あります。月により変動はありますが、8～9割が介護アロマです

収益性はあります。月にもよりますが7割くらいでしょうか

ある。約50%

## [ある～5割未満] アンケート文

ボランティアではないですが収益性という点では小さいです

サロン収益に対して約1/10ほど。出産人数が多い月もあれば少ない月もあります

短期的視点で考えた場合一応あるが、一定ではない。全体収益の10～15%程度

# 対外的活動をしているセラピストから学んだ9つのポイント

1. その業界、関わる世界への正しい理解
2. 自らの管理、自己勉強の大切さ
3. チームとしての参加意識
4. 集客力、提案力、展開力など
5. セラピストとしてできることできないことを明確に。
6. 守られた環境でできることの自覚を
7. 各分野で働く方とのコミュニケーションを大切に
8. 相手の状況をくみ取れること
9. 常に知識を得ていく

# 対外活動をしてみても当事者として思うこと～アンケート抜粋

## その業界、関わる世界への正しい理解

利用者様の持つセラピーではケアが難しい身体  
の持病への理解（介護分野：NPO法人代表）

自身のケース含め医療・介護機関での施術は単純に  
「施術ができる」だけではない、知識、経験、配慮、メンタルの強さなど、ある種専門的なことが必要な場  
であると感じています。  
（大学病院：リンパケアセラピスト）

## チームとしての参加意識

利用者様と折り合いながら、また施設の方に  
サポート頂きながら対応（介護施設：セラピスト）

スタッフから先生と言っていていただいておりますが、  
立場は奢ることなくいちスタッフでしかないので、  
みなさんと仲良く謙虚にやっていくことかと思  
います。スタッフとコミュニケーションがとても大切  
なのは。（クリニック：セラピスト）

## 自らの管理、自己勉強の大切さ

コードブルーなど緊急のコールもあり、身体のことを  
いくら学んでも医療との差を感じざるを得ません。  
自分の立ち位置としての責任を感じます。  
（産科医院：アロマセラピスト）

妊娠に対しての知識理解不足を感じ、妊婦さん向けの  
本を読んだり、マタニティリトリートメントの講座を  
いくつか受講し自分なりに勉強しました。  
（産科医院：アロマセラピスト）

活動が多岐にわたるため、ダブルブッキングがな  
いように、スケジュール管理が課題。  
決まった予定や締め切りなどはすぐ入れるよう  
にして管理し活動をしています。  
（研修講師：ボディケアセラピスト）

# 対外活動をしてみて当事者として思うこと～アンケート抜粋

## 集客力、提案力、展開力

私のケア理念に共感してくれる仲間に、私の培ってきたものをシェアし、生徒さんにどんどん実践していただき家庭の緩和ケア(患者さんとのよりよい関係づくり)を広めています。(緩和ケア:セラピスト)

香油を商品化したが、使い方が分かりづらく販売が伸びていない。今後は化粧品登録をされている会社と協力して、もっと使い方が明確で分かりやすく手に取りたくなるものにしていきたい。(自治体イベント活動:アロマセラピスト)

必要とされている方や家族に、まだまだこういうサービスがあるという情報が届いていない。まず、施設への承諾→高齢者の方への周知→家族への承諾、と、サービスに繋がるまでに段階が多い。(介護施設:アロマセラピスト)

HPやSNSの発信、体験会、地域サロンやイベントなどで地道にコツコツと啓発している  
(自治体イベント活動:ボディケアセラピスト)

長く続けられれば続けるほど、状況は変化していくものなので、セラピスト側から提案したり、また相手側からの要求に柔軟に対応できるような体制を取っておくこと。  
(企業:ボディケアセラピスト)

カフェ来店者だけでなく、施術等が主目的の方の自力集客方法  
(カフェ:リフレクソロジスト)

## セラピストとしてできること できないことを明確に

セラピストは「優しい想い」や「私が何とかしたい」との想いの方が多いのではないかと。  
特に、医療や介護の現場に関わるセラピストは利用者・患者さんへの優しさと同時に、「出来ないこと」「限界を知ること」「出来る人に繋ぐこと」と言った自分への厳しさを意識されると良いと思います。  
(NPO法人代表)

医師、看護師さんを尊重し、常に自分はその病院のスタッフの一員であることを忘れず、アロマセラピストはアロマセラピストとして与えられた範囲で精一杯の事を努めることが大切と感じます。  
(アロマセラピスト)

産科に通院中の妊婦さんや入院中の妊婦さん、そこに携わるスタッフの皆さんの最大の目的は「安全・安心なお産」ですので、妊産婦さんの心身の回復のサポートのほんの一部に携わせていただいている、という自覚を常に忘れないということだと思います(リフレクソロジスト)



# 対外活動をしてみて当事者として思うこと～アンケート抜粋

## 守られた環境でできることの自覚を

役員の皆様に打ち合わせ段階で「味方・ファン」になっていただと、集客・広報等熱心にしていただけるように思いますし当日の運営にも大変協力的です。(企業イベント:セラピスト)

企業内では多くの人への施術ができるがこれも担当部署との調整やサポートのおかげだと思う。  
(企業内施術:ボディケアセラピスト)

## 各分野で働く方とのコミュニケーションを大切に

個人活動している身として、組織内で働くことは、ある意味守られた環境の中ではたけるという事です。その一員であることを忘れてはいけないと思います。(ボディケアセラピスト)

医師や医療関係者の方針を遵守し、彼らの目が行き届かないクライアントのメンタル・ケアやホスピタリティに関しては丁寧に行う。(美容クリニック:セラピスト)

日本語が通じない中でも積極的なコミュニケーションをとることで意思疎通がはかれた。大切なのは一緒に作り上げたいという気持ちなのかなと。(海外サロン:ビューティーケアセラピスト)

## 相手の状況をくみ取れること

関わるイベントの趣旨を組みとり、セラピーブースはあくまでもサブ的なコンテンツであることを踏まえて、最上のプランニングを行う。  
(イベント:ボディケアセラピスト)

古民家カフェは昔ながらの広い和室や縁側など、スペースにゆとりがあるケースが多く、可能性を秘めていると思います。ただ食べ物を扱う場所であるため、“香り”“アロマや化粧品等”との兼ね合いは、オーナーの意向や店内レイアウトによるかもしれません。(カフェ:アロマセラピスト)

私は精油をサロン使いのものと同じブランドにしています。ダウングレードしない。最近ではアロマの知識ある参加者の方もいらっしゃる、「本物」を使っていると信頼してくださって、他の参加者の方にも説明していただきます。  
(自治体講師:アロマセラピスト)

主催者はセラピーに関するオペレーションがわかっていないケースもあるので、何ができて、何ができないのかを、しっかり事前説明する。  
(イベント:メンタルケアセラピスト)

受講生の皆様にご満足いただけたらアンケート等の結果など、満席が続いたりすると、安定して毎年、又は複数回のシリーズ講座のご依頼をいただけたと思います。(自治体講師:セラピスト)

# 対外活動をしてみて当事者として思うこと～アンケート抜粋

## 常に知識を得ていく

薬理作用のある精油を使うというアロマセラピスト、奢ることなく常に新しい情報など勉強していくことが必須なのではと思います。(産婦人科医院：アロマセラピスト)

セラピーの時間は職員さんやご家族さんが安心して任せてくださるような信頼関係が、継続していくためには欠かせません。(徘徊や不穏などがある高齢者さまにケアに入る場合、職員さんやご家族さんがその間少しでも他のことができたり気分転換などができるなど)そのためには、アロマの知識・技術のみならず、介護についてどんどん経験していくことが大切だと思います。(介護施設：アロマセラピスト)

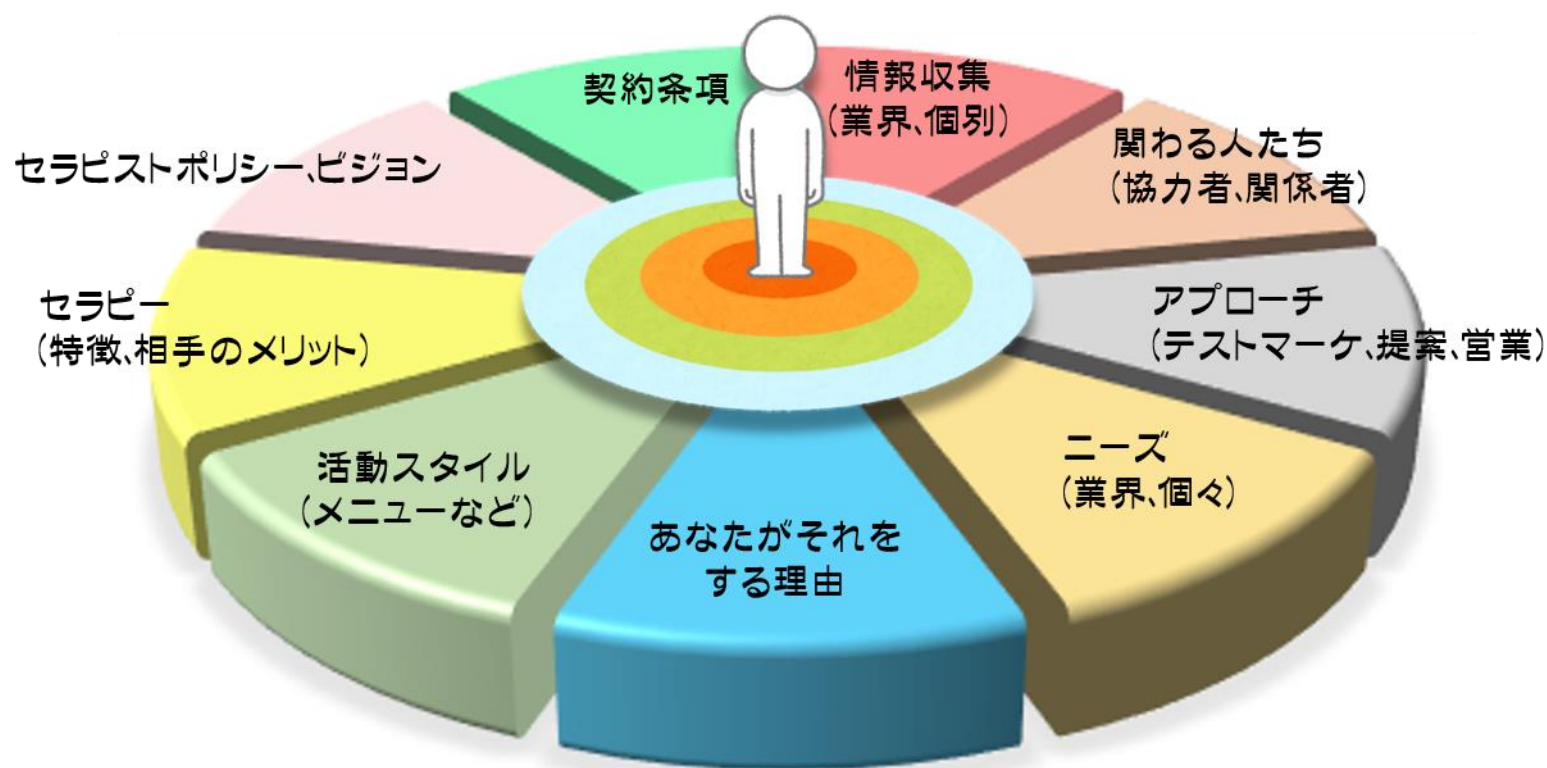
医療従事者さんの仕事量が膨大になっている現代、セラピストとしての立ち位置が必要とされるときが来るのではと信じております。(クリニック：セラピスト)

今現在、どんどん介護福祉業界でのアロマケアが広がっています。高齢者さんの体や心理面をよく理解した上で、またその方一人一人を受け入れ、寄り添える覚悟の上でのアロマケアがとても大切だと思っています。(介護施設：アロマセラピスト)

観光(スパ)の世界も常に知識を得ていかなければ求められなくなる。諸外国の流行や各国の事情など学ぶことは多岐にわたります。(スパ施設：ビューティケアセラピスト)

## ディスカッション

# 対外活動の可能性を開く～9つの軸



# まとめ





# セラピストコミュニティ～オープンキャンパスとは？

現場でも、  
技術系セミナーでもない  
セラピーに関わる人を  
緩やかにつなぐ  
サードプレイス  
(第三の場所)

魅力あるセラピストライフ  
を形成する  
『今知りたいこと』  
『新たな人との出会い』  
『気づき』がある

キャリアやジャンル、  
既存の序列や枠の中から  
新たな価値を再構築  
する場所、できる場所

谷口校長スペシャル講義

知りたい、学びたいテーマに  
沿ったスペシャルな講義  
オープンキャンパスなので  
リラックスした  
空間で、楽しく、  
真面目に学べます

